

Plot 出力でのカラーテーブルの設定方法

PDS で図面のプロット出力を行う際には、IPLOT の機能を使用します。

IPLOT に付属する color.ctb および bw.ctb カラーテーブルを使用すると、カラー/モノクロでの出力を切り替えることができます。PDS で color.ctb や bw.ctb を使用するためには、以下の設定方法があります。

[1]デフォルトのカラーテーブルの設定方法

[2]プロット時にカラーテーブルを切り替える場合の設定方法

1. Drawing Manager によるプロット
2. ISOGEN Drawing Manager によるプロット

[1]デフォルトのカラーテーブルの設定方法

各クライアントマシンの C:\Program Files\InterPlot Client\settings\ に、iplot.set というセッティングファイルを作成します。

Notepad で以下のいずれかを記入し、iplot.set という名前で保存してください。

デフォルトをカラー出力にする場合：

```
COLOR_TABLE=color.ctb
```

デフォルトをモノクロ出力にする場合：

```
COLOR_TABLE=bw.ctb
```

[2]プロット時に出力方法を切り替える場合の設定方法

1. Drawing Manager によるプロット

1. はじめに、C:\Program Files\Common Files\Inter Plot\IPLOT\misc に含まれる、IPLOT のカラーテーブル color.ctb および bw.ctb を、サーバ上のディレクトリにコピーしておきます。
2. Notepad で、以下のカラー出力用とモノクロ出力用のセッティングファイルを作成します。

カラー出力にする場合：color.set

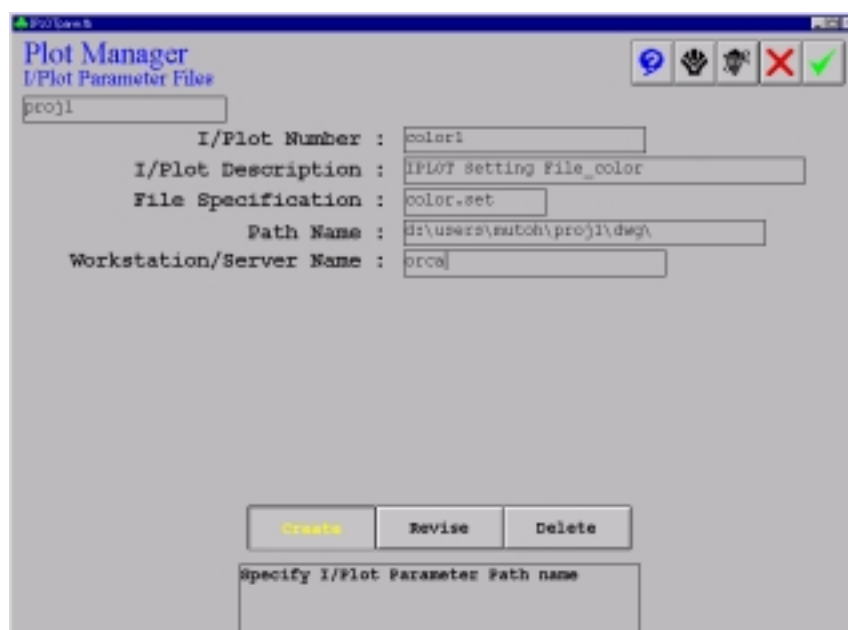
```
COLOR_TABLE=¥コンピュータ名¥共有名¥フォルダ名¥color.ctb
```

モノクロ出力にする場合：bw.set

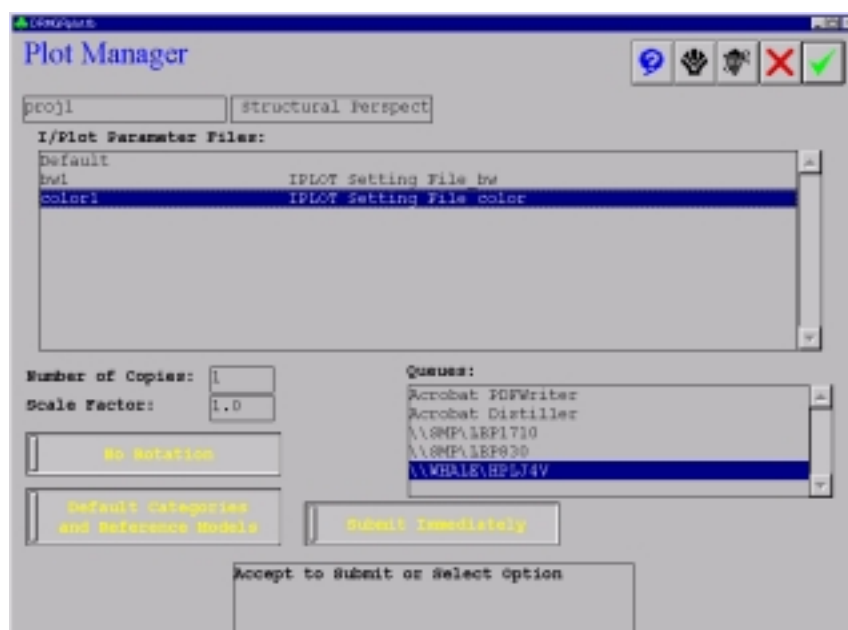
```
COLOR_TABLE=¥コンピュータ名¥共有名¥フォルダ名¥bw.ctb
```

カラーテーブルのパスは、ステップ 1 でファイルをコピーしたディレクトリを指定してください。

3. PDS の起動画面より、Drawing Manager > Plot Setup Manager を選択します。
File Specification で、先に作成したセッティングファイルを指定します。



4. PDS の Drawing Manager > Plot Manager を選択し、プロットするドローイングを選択します。
以下のフォームが表示されます。



5. I/Plot Parameter Files で、セッティングファイルを選択してください。
Queues で、出力するプリンタ・プロッタを選択してください。
6. Confirm するとバッチが実行され、図面が出力されます。

2. ISOGEN Drawing Manager によるプロット

1. はじめに、C:\Program Files\Common Files\Inter Plot\IPLLOT\misc に含まれる、IPLLOT のカラーテーブル color.ctb および bw.ctb を、サーバ上のディレクトリにコピーしておきます。
2. 現在使用中のプロットファイル(***.i)、またはサンプルのプロットファイル(isoc_sml.i 等)を、color.i および bw.i という名前でコピーします。
3. 各プロットファイルに対して、コマンドプロンプト上で以下の設定を行います。

カラー出力用 : color.i

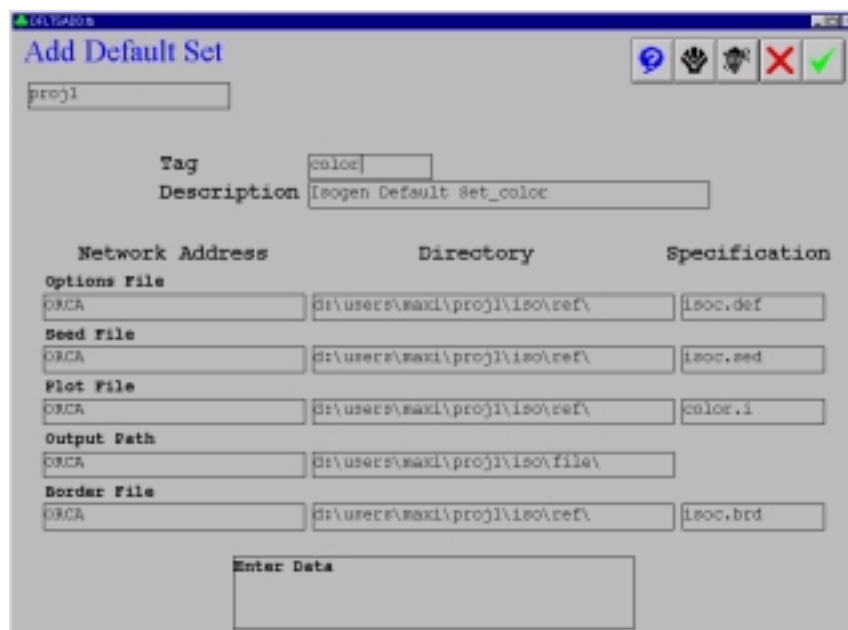
```
lplot mod color.i -COLOR_TABLE=%コンピュータ名%共有名%フォルダ名% color.ctb
```

モノクロ出力用 : bw.i

```
lplot mod bw.i -COLOR_TABLE=%コンピュータ名%共有名%フォルダ名%bw.ctb
```

カラーテーブルのパスは、ステップ 1 でファイルをコピーしたディレクトリを指定してください。

4. カラー出力用とモノクロ出力用の Default Sets を作成します。
各 Default Sets に対して、上記のプロットファイルを指定します。



5. ISOGEN でプロットを行う際には、上記のいずれかの Default Sets を使用します。